

誰一人置き去りにしない世の中を求めて — 今だからこそ教育について語ろう —



ぼくたちの叫びが
聞こえますか



「ワルボロ」から12年、隅田靖が描く、日本社会に潜む凶暴な闇。
こんな日常を許しているのは、誰なのか ——。



上映会

kodomoyoroshiku.com

子どもたちをよろしく

映画プロデューサー
元文部科学省官僚

元文部科学事務次官
現代教育行政研究会代表

(一社)岡山に夜間中学校をつくる会
理事長

寺脇 研 × 前川 喜平 × 城之内 庸仁 トークセッション ※ 手話通訳あり

日時 2021年10月23日 (土)

開場 18:00 開演 18:30

会場 倉敷市芸文館ホール

入場 無料 (先着200名)

お申し込みは下記のフォームに入力してください

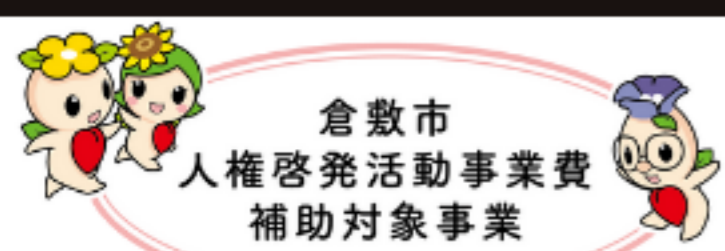
<https://forms.gle/wAYqpwxX3mUHsM1A>

スマートフォンからはこちらのQRコードに→

お問い合わせ先

☎ 090-2862-4400 (城之内)

✉ noby1009@gmail.com



後援：倉敷市 (申請中) 山陽新聞社 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会
総社市教育委員会 瀬戸内市教育委員会 備前市教育委員会 笠岡市教育委員会

主催：(一社)岡山に夜間中学校をつくる会



<https://www.okayama-yakanchu.com/>

東京にほど近い北関東のとある街。デリヘルで働く優樹菜（鎌滝えり）は、実の母親・妙子（有森也実）と義父・辰郎（村上淳）そして、辰郎の連れ子・稔（杉田雷麟）の四大家族。辰郎は酒に酔うと、妙子と稔には暴力、血の繋がらない優樹菜には性暴力を繰り返した。母の妙子は、まったくなす術なく、見てみぬふり。義弟の稔は、父と母に不満を感じながら優樹菜に淡い想いを抱いていた。優樹菜が働くデリヘル「ラブラブ48」で運転手をする貞夫（川瀬陽太）は、妻に逃げられ重度のギャンブル依存症。一人息子・洋一（樺三期）をほったらかし帰宅するのはいつも深夜。洋一は暗く狭い部屋の中、帰ることのない母を待ち続けていた。稔と洋一は、同じ学校に通う中学二年生。もとは仲の良い二人だったが、洋一は稔たちのグループからいじめの標的にされていた。ある日、稔は家の中で、デリヘルの名刺を拾う。姉の仕事に疑問を抱いた稔は、自分も洋一と同じ、いじめられる側になってしまうのではないかと、一人怯えるようになる。稔と洋一、そして優樹菜。家族ナシ。友だちナシ。家ナシ。居場所をなくした彼らがとった行動とは――



「子どもたちをよろしく」 出演：鎌滝えり 杉田雷麟 樺三期 川瀬陽太 村上淳 有森也実
監督・脚本：隅田靖 企画：寺脇研・前川喜平 製作プロダクション：ドッグシュガー
配給・宣伝：太秦 2019年/日本/カラー/105分 ©子どもたちをよろしく製作運動体

この作品は、中学生のいじめと自殺、その裏にある家庭の問題をリアルに描いている。とても重い映画。しかしこれは現実だ。この現実一人でも多くの人が気付くことが大事なのだ。

前川喜平（元文部科学省事務次官）

現代教育行政研究会代表、元文部科学事務次官 東京大学法学部卒業後、旧文部省入省。初等中等教育局長などを経て2016年事務次官。2017年1月、天下り斡旋問題で辞任。現在、全国各地で講演しながら、「教育政策をめぐる現代的諸課題」をテーマに日本大学文理学部で講義するほか、自主夜間中学での指導にも当たる。

寺脇研（京都造形大学教授、カタリバ大学学長、映画評論・映画プロデューサー）

東京大学法学部を卒業し、文部省（当時）に入省。生涯学習局生涯学習振興課長、大臣官房審議官などを経て、文化庁文化部長を務めた後文部科学省を退官。著書に『国家の教育支配がすすむ』『それでも、ゆとり教育は間違っていない』『韓国映画ベスト100』『官僚批判』『ロマンポルノの時代』などがある。映画プロデューサーとして『戦争と一人の女』『バッド・オンリー・ラブ』を制作。演劇プロデューサーとして『グレイッシュとモモ京都春秋座公演』『ゴールデン街青春酔歌』を制作。

城之内庸仁（一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会理事長）

公立中学校教諭。岡山県内で学び直しを望む人のために2017年4月、岡山国際交流センターを教室にして「岡山自主夜間中学校」を立ち上げた。2018年12月に一般社団法人として活動をスタート。岡山自主夜間中学校の運営と、岡山に「公立夜間中学校」が設置されるよう尽力している。NHK Eテレ「ハートネットTV」、TBS「NEWS23」をはじめとしてテレビ各局や新聞各紙で岡山自主夜間中学校の取り組みが紹介され注目を集めている。

第19回 おかやま県民文化祭参加事業
誰一人置き去りにしない世の中を求めて
— 今だからこそ教育について語ろう —

2021年10月23日（土）倉敷市芸文館ホールにて

18:30～18:35 開会あいさつ

18:35～20:20 映画「子どもたちをよろしく」

20:20～20:30 休憩

20:30～21:30 トークセッション ※手話通訳あり



司会：遠藤 寛子
フリーアナウンサー
(元RSK山陽放送アナウンサー)

このイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場の皆様の連絡先等を把握しての実施となります。参加希望の方は、下記QRコードのフォームから必要項目を入力してください。

人数制限がありますので、お早めのお申込みをお願いします。



<https://forms.gle/wAYqpwxX3mUHsM1A>